



松浦武四郎さんと私の接点って？

私が中学生のころは、毎年大台ヶ原への一泊登山が行われていたので、何も知らないままバスに乗って分骨碑にお参りしたことを覚えています。今から46年も前のことです。

その後、「武四郎記念館」が建てられ、「武四郎まつり」が始まって「アイヌの方々の伝統舞踊」を見せていただくのを楽しみにしていたのですが、物産展は見ても、武四郎さんの書かれた文や絵に興味を持つことはありませんでした。

転機がやってきたのは、今から15年前、私は、教職員として何か芯になる物を持ちたいと思っていたとき、「佐藤貞夫先生」が講座を始められると聞き、ぜひ参加して、武四郎さんのことを理解できるようになりたいと思ったのです。

そうだ、ライフワークにしよう。ずっと続けていけば、いつかは難解な古文書を読めるようになるんじゃないか。(実は、同じ時期に和太鼓作りを始めたので、二つのライフワークを大事にしているんですよ。いつかは、自分で太鼓を作れるようになるんじゃないか？と思ってきて、なかなか難しいけど、少しずつまともな太鼓が作れるようになってきた。) そう思っていたのに、武四郎さんの字は、古文書を読める人でも難解なのだそうで、私は、いまだにすらすら読めたためしがないんです。

そんな私ですが、退職を期に本格的に武四郎さんのことをもっと深く学びたいと考え、少しでもお役に立ちたいと友の会にも参加させていただくことにしたのです。何も分かっていない未熟者ですので、みなさんの足手まといにならないか心配ですが、今後ともよろしくご指導ください。

最後に、私の夢についてなのですが、北海道には、各地に記念碑が建立されていて、「高瀬英雄さん」の影響もあり、「北海道記念碑を巡る旅」をしたこともあるのですが、残念なことに、生誕地には、友の会が作った歌碑以外に顕彰碑がありません。ぜひ、三重県にも武四郎さんがどんな活躍をした方なのかが分かる碑を建立したいと願っています。その碑は、武四郎さんが初めて北海道を目指した原点の地でもある松阪市小野江町に、武四郎さんの姿を銅像にして建てたいのです。いつか夢がかなう日が来ると信じて、地道な活動を続けていこうと思っています。

役員 出口孝次



記念館前の和歌の碑前で



和太鼓作りに挑戦中



天塩川河口にある武四郎の銅像

松浦武四郎誕生地保存会が解散しました！！

平成21年9月に発足した松浦武四郎誕生地保存会はこの度解散することになり、7月29日(土)に真覚寺において「思い出を語る会」が26名の参加で開催されました。

中西明・元館長による保存会の活動状況の写真やビデオ映像を視聴しながら、思い出を語り合いました。

【松浦武四郎誕生地保存会の発足の経緯】

松浦武四郎記念館友の会は平成20年に発足しましたが、誕生地保存状況について心配する声から上がり、主屋及び離れの室内の掃除、庭木の選定・庭の雑草取りを行おうと言うことになりました。役員と会員有志により、第一回は平成20年11月2日に、第二回は平成21年6月27日に実施しました。

その後、平成21年度に誕生地保存会が発足することになり、家屋内部の清掃、庭木の手入れも引き継がれました。

なお、誕生地保存会は北小野江、南小野江の住民と友の会会員の有志で構成されました。来年の平成30年には武四郎生誕200年の節目になることを契機に、誕生地の整備も終わり、一般公開される予定です。この機会に保存会を一旦解散し、新たな組織として発足する予定です。

市政バス研修を開催しました！！

9月15日に松阪市内の施設を巡り学ぶ研修バスツアーを30名の参加で実施しました。このバスツアーは松阪市の施設の内容を理解して頂くとともに市政への関心を持っていただくため松阪市役所の協力を得て実施しています。

今年は、新しくなった「健康センターはるる」と、映画「彼岸花」で有名で「世界のOZU」と称される小津安二郎が飯高町宮前小学校で教員として過ごした地にある「小津安二郎資料室」を見学しました。

参加された田中弘子さんに感想文をいただきました。



お話を聞く参加者(健康センターはるる)

市政バスツアーに参加して

会員 田中弘子

朝夕ようやくしのぎやすくなりました。お天気にも恵まれ、楽しみにしていた「バスツアー」9時に記念館を出発「健康センターはるる」へ、外観は「白色」を基調として・・・内部は松阪産材の「杉」を利用し、温かみのあるエントランス、健康チェックコーナー、キッズコーナー等がありました。特に感心させられた事は、乳幼児が喜ぶような柔らかい感触の手作り玩具等、又、2階、3階は「健康づくりを応援、元気をふやす場」として、調理室、パーティールーム、子どもの丘、健康歩路がありました。特に子どもの丘、健康歩路(1周約30mの歩路)は、親子共々屋上で安心して運動できる場所だと思いました。「元気なからだ」「笑顔で子育て(松阪版ネウボラ)」「健康なまちづくり」を目標に・・・少しでも医療費等が軽減されることを望みました。

次は楽しみを昼食、ゆっくり、のんびりと「郷土食(色)」豊かな美味しい食事をいただきました。御馳走様でした。

午後は食事処から徒歩で数分の「小津安二郎 資料室」へ、岡本さんから熱心に説明して頂き、又、沢山の資料が残されてびっくりしました。父との約束で、1年間の教員生活を終えられた事・・・あれ程生徒たちに「おもしろくて、愉快な先生」と慕われながらも、やはり「映画監督」になる気持ちは依然として心の奥底に宿っていたのだと感じました。機会がありま

したら、是非「監督作品」を鑑賞して、もう一度、飯高での「オーヅ先生」を偲んでみたいと願っています。

その後、道の駅「飯高駅」で買い物を楽しみ、全員笑顔で記念館に到着しました。色々お世話していただきました皆様、本当にありがとうございました。

※「ネウボラ」とは、フィンランドで発生したもので、地方自治体が設置する母子支援地域拠点において、看護師や保健師、ソーシャルワーカーや心理士が、妊娠期から就学前までの健康診断や保健指導、予防接種を行い、子育てに関する相談や必要に応じて他の支援機関との連携を行う制度です。日本でも各地の自治体で、地域の特性に合わせた取り組みが始まっています。

※「小津安二郎 資料室」は、小津安二郎が宮前小学校で一年間教員生活をしてきた時の教え子達が作った「オーヅ会」が管理しています。教え子たちは小津先生を「オヅ」ではなく、親しみを込めて「オーヅ先生」と呼んでいたとのこと。

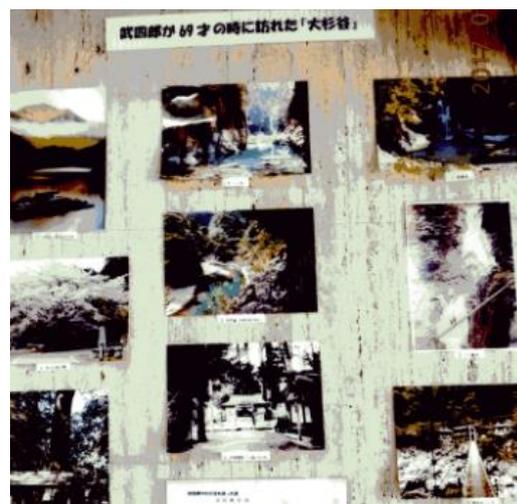


小津安二郎資料室の説明をする岡本さん

友の会の活動(エゾヤマザクラを含む)と大杉谷の写真展

今年も7月3日～28日の間、三雲地域振興局内ほっとギャラリー(入口)において、友の会の活動状況と4月に行ったエゾヤマザクラ撮影会に応募された写真を展示し、多くの方が来られました。備え付けの記帳名簿に記帳して頂いた方は約50名でした。

展示内容については、友の会の活動展示以外に特別展示として、武四郎が69歳のときに大杉谷を訪れており、その足跡を辿り大杉谷の村田区長が、現在の写真を撮ったもの9枚を今年6月の「松阪の偉人たち展」において展示したところ好評だったので、地元の方々にも観ていただくよう展示しました。



村田区長さんが撮影した大杉谷の写真

新聞で紹介記事が掲載されたこともあり、大台町の数名の方々も来られ観ていただきました。

【飯田会長が地元小学校児童に特別授業】

9月29日(金)に飯田会長が小野江小学校生徒を対象に特別授業を行いました。来年は武四郎生誕200年ということで、特に2年生2クラス(53名)を対象に、武四郎が関わった場所の案内・説明をしました。

真覚寺では堂内に上がり、武四郎と真覚寺の関係を中心に説明、本楽寺は武四郎が晩年に立ち寄っているのでコースに入れました。

コース：武四郎誕生地⇒真覚寺⇒本楽寺⇒金田一京助が植樹した桜⇒伊勢街道の屋号看板のある街並み⇒北海道新聞社から寄贈されたエゾヤマザクラ⇒小学校へ戻る

【記念館よいのお知らせ】

☆武四郎講座のご案内 ※下記は予定ですので、変更になる場合があります

11月12日(日)10:00～	テーマ：武四郎の終活	講師：山本命主任学芸員
12月10日(日)10:00～	テーマ：聖跡二十五霊社順拝双六	講師：山本命主任学芸員
1月14日(日)10:00～	テーマ：武四郎の古銭収集	講師：山本命主任学芸員

☆展示のご案内

- ◆武四郎の終活 ～ 12月10日(日)まで
武四郎の人生の「終」に向けた「活」動を紹介
- ◆武四郎が読んだ本 12月12日(火) ～ 2月12日(日)まで
幅広い知識を身につけていた武四郎が読んだ本、集めた本から紹介

☆【松浦武四郎生誕200年記念事業】

- 2月24日(土)13:30～16:00 松浦武四郎生誕200年記念事業オープニングイベント
内容：武四郎を「見る」、「知る」、「学ぶ」をテーマにしたプログラムで、記念事業のオープニングを行います。(場所：農業屋コミュニティ文化センター)
- 2月25日(日)11:30～ 第23回武四郎まつり
内容：恒例となっている毎年2月の最終日曜日に開催している武四郎まつりが生誕200年を迎え、バージョンアップして開催されます。
老朽化や耐震性の向上のために修復していた松浦武四郎誕生地が完成したため公開します。(場所：松浦武四郎記念館及びその周辺)

【友の会よりのお知らせ】

- ◆会員懇談会を12月10日の武四郎講座終了後に開催します。
多くの方々の出席及び積極的なご意見・提案をお願いいたします。
- ◆他団体との交流会について
今回は「ときめき高虎会」(津市)と交流することに決定し、2月上旬に開催するよう期日調整中です。具体的には友の会だより1月号にてお知らせします。

会員の皆さまへ

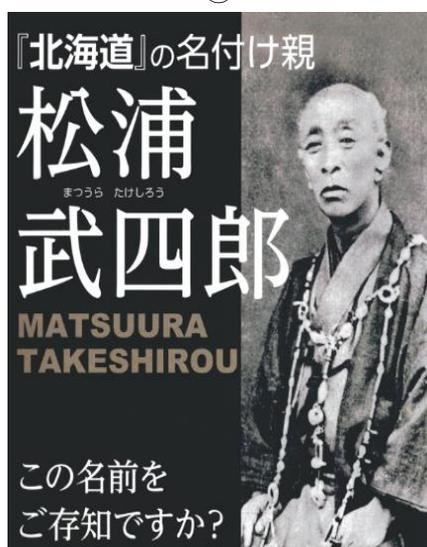
来年の生誕200年、北海道命名150年の事業に向けて新しいパンフレットができました。

- ①「この名前をご存知ですか?」、②「松阪市の生まれです。」、③「2018年は、北海道命名から150年。三重県松阪市では生誕200年を迎えます。」の3種類です。

友の会としても記念事業に参加・協力してゆきますので宜しくお願いいたします。

また、このパンフレットなどを参考にして、知り合いの方に記念事業の内容を広めて頂くようお願いいたします。

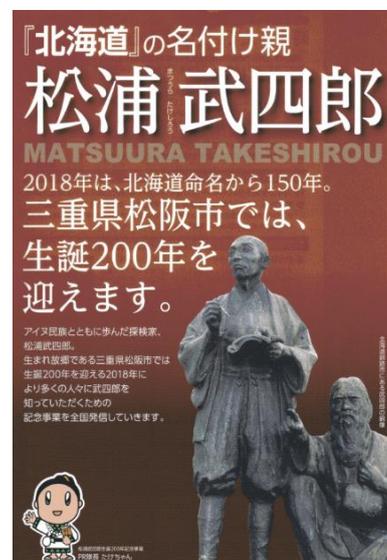
①



②



③



①は武四郎の生涯や足跡を記載しています。

②は記念館と生家を紹介すると共に、松阪市の紹介とアクセスを記載しています。

③は生誕200年記念事業の概要を記載しています。